

## 魅

力的な人には、ある共通点がある。それは、なんともいえない「気持ちよさ」を漂わせていることではないだろうか。ハワイを拠点に活動するアーティスト、ヘザー・ブラウンは、まさにそんな「ハッピー・オーラ」を周囲に振りまく太陽のような女性だ。

サーファートの聖地ともいえるハワイはもちろん、アメリカ、ヨーロッパなど、今や世界中のアートシーンで注目を集める存在。今年の春には、東京・青山に世界初の常設ギャラリーをオープンさせた。力強いタッチで描かれる太いアウトライン、鮮やかで繊細な色づかい。彼女独自のスタイルで生み出されるペインティング作品は、どこかステンドグラスのような雰囲気だ。なかでも特徴的なのが、さまざまな表情を見せる「海の風景」だろう。

「27歳からハワイで暮らすようになって、その2年後にサーフィンをはじめたの。毎日海に通っているうちに、作品にも変化が出てきて。サーフィンをしながら見た波の形、海の色、そしてハワイの風やレイドバック（ゆったりとした空気感……。それらすべてに影響を受けて、今のスタイルが確立されていたのだと思う」

ちなみに、具体的な場所や風景を、そのまま写し取ることは



ほとんどない。ハワイの自然やアロハのスピリットが彼女のなかで像を結び、一枚の絵となつてキャンバスに描き出されるのだという。そんなヘザーの作品が世に出ることになつたきっかけのひとつに、ジャック・ジョンソンとの出会いがある。07年、彼が主催するハワイ最大のミュージック・フェス「コクア・フェスティバル」のメインポスターに彼女の絵が起用されたのだ。

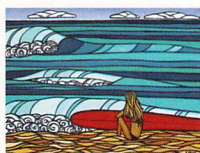
「最初にオフアアが来たときは、信じられなかった笑。以前から絵を描くときに彼の音楽を聴いていたし、どんなに人気があつても常にナチュラルでいるミュージシャンとしての姿勢もリスベクトしていたのだから。大きなチャンスを与えてもらったことに心から感謝しているわ」

彼女の絵を目にすると、心がほぐれる。「アートにはいろいろなタイプがあるけれど、私は少しでも人の気持ちを幸せな方向に動かすことができたらいいと願っている」と話すヘザー。これこそが彼女の原動力であり、作品の最大の魅力なのだ。だからこそ、どうしても聞きた

いことがあつた。「あなたが幸せそうなのは、なぜ？」と。「そうね、いつも前向きに考えるようにしているからかしら。物事にはよい面も悪い面もある。そのよい面をフォーカスするように、努力しているの。もうひとつは、自分にとつてうれしいことをちゃんと自覚して、感謝すること。とてもシンプルなことでいいのよ。例えば、愛犬が可愛くて本当にハッピーだな、とかね（笑）。そういうひとつひとつを、意識的に自覚するように心がけているわ」

## サーファート界に現れた ハワイ発ビッグ・ウェーブ

ヘザー・ブラウン



ヘザー・ブラウン・ギャラリー  
03-5474-7729  
www.heatherbrown.jp

### PROFILE

1973年米国LA生まれ。2000年、旅行で訪れたハワイに魅了され、6カ月後に移住。アルバイトをしながらハワイ大学でアートを学ぶ。3年前より本格的に活動を開始、瞬く間にサーファートシーンで注目を集める存在に。今年3月、青山に世界初の常設ギャラリーをオープン。  
→エル・オンライン [www.elle.co.jp](http://www.elle.co.jp)でも特集中!